
業績ハイライト

－ 平成27年3月期決算について －



目次

1. 損益の状況	…	1
2. 自己資本比率の状況	…	3
3. 貸出金の状況	…	4
4. 預金の状況	…	5
5. 預かり資産の状況	…	6
6. 有価証券の状況	…	7
7. 金融再生法開示債権の状況	…	8
8. 経営指標	…	10
9. 平成28年3月期 業績予想及び配当方針	…	10

1. 損益の状況

① じもとホールディングス連結

(単位:百万円、%)

	26年3月期	27年3月期	27年3月期	
			前年同期比	増減率
連結経常収益	41,548	42,755	1,206	2.9
連結経常利益	6,114	6,751	636	10.4
連結当期純利益	4,661	5,986	1,324	28.4

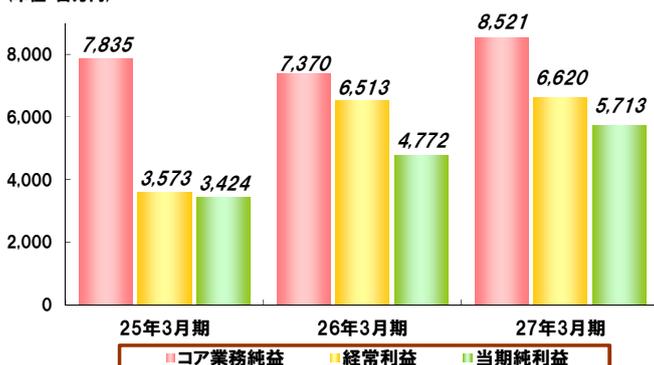
- じもとホールディングスの連結経常収益は427億55百万円、連結経常利益は67億51百万円、連結当期純利益は59億86百万円となりました。

② 2行合算

(単位:百万円、%)

	26年3月期	27年3月期	27年3月期	
			前年同期比	増減率
経常収益	41,538	42,213	675	1.6
業務粗利益	33,078	34,889	1,810	5.4
資金利益	30,024	30,678	654	2.1
役務取引等利益	2,990	3,120	129	4.3
その他業務利益	62	1,090	1,027	-
うち国債等債券損益	47	1,077	1,029	-
経費(除く臨時処理分)	25,660	25,290	△ 369	△ 1.4
うち人件費	12,535	12,751	216	1.7
うち物件費	11,730	10,946	△ 783	△ 6.6
業務純益(一般貸倒繰入前)	7,417	9,598	2,180	29.3
コア業務純益	7,370	8,521	1,151	15.6
一般貸倒引当金繰入額	△ 96	△ 611	△ 515	-
業務純益	7,514	10,210	2,695	35.8
臨時損益	△ 1,000	△ 3,590	△ 2,589	-
うち不良債権処理額	865	2,487	1,621	187.4
うち個別貸倒引当金繰入額	551	1,930	1,379	250.2
うち貸倒引当戻入益	557	-	△ 557	-
うち株式等関係損益	265	391	125	47.3
経常利益	6,513	6,620	106	1.6
特別損益	△ 1,581	△ 56	1,525	-
当期純利益	4,772	5,713	940	19.7
与信関係費用	193	1,820	1,626	-

(単位:百万円)



- 2行合算の経常収益は、前年同期比6億75百万円増加の422億13百万円(増減率1.6%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、有価証券関係損益の増加等により、前年同期比11億51百万円増加の85億21百万円(増減率15.6%)となりました。
- 経常利益は前年同期比1億6百万円増加の66億20百万円、当期純利益は前年同期比9億40百万円増加の57億13百万円となりました。

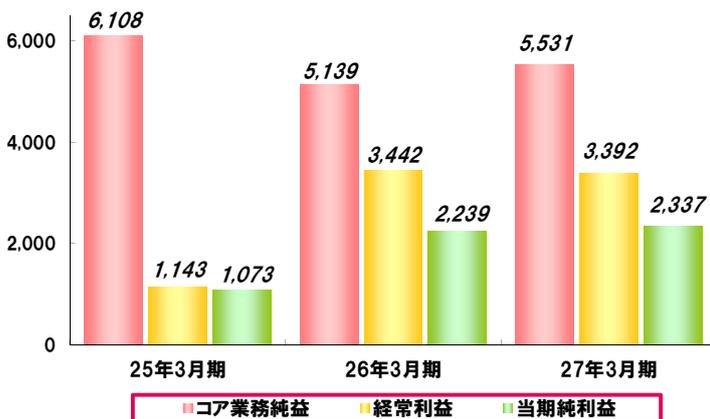
1. 損益の状況

③ きらやか銀行単体

(単位:百万円、%)

	26年3月期	27年3月期	前年同期比	
			前年同期比	増減率
経常収益	24,874	25,728	854	3.4
業務粗利益	20,058	21,096	1,038	5.1
資金利益	18,372	18,876	503	2.7
役務取引等利益	1,490	1,614	123	8.2
その他業務利益	195	606	410	210.5
うち国債等債券損益	184	597	412	223.1
経費(除く臨時処理分)	14,734	14,967	233	1.5
うち人件費	7,712	7,918	206	2.6
うち物件費	6,296	6,152	△143	△2.2
業務純益(一般貸倒繰入前)	5,324	6,128	804	15.1
コア業務純益	5,139	5,531	392	7.6
一般貸倒引当金繰入額	△96	△87	9	-
業務純益	5,420	6,216	795	14.6
臨時損益	△1,978	△2,823	△845	-
うち不良債権処理額	749	1,591	842	112.3
うち個別貸倒引当金繰入額	551	1,307	756	137.1
うち株式等関係損益	191	165	△25	△13.4
経常利益	3,442	3,392	△50	△1.4
特別損益	△1,077	△17	1,059	-
当期純利益	2,239	2,337	97	4.3
与信関係費用	650	1,567	917	141.1

(単位:百万円)



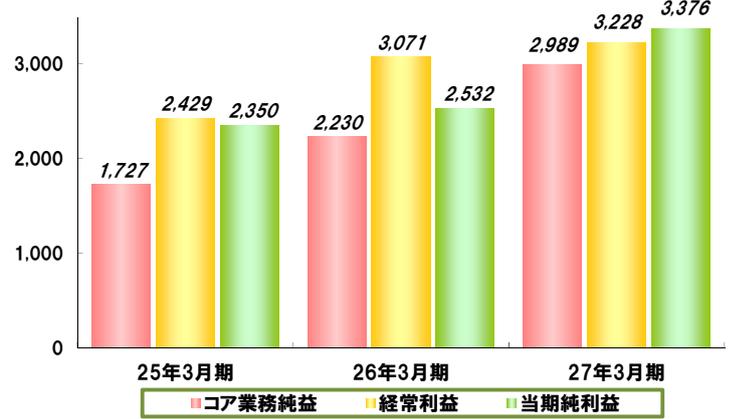
- 経常収益は、貸出利回りの低下により貸出金利息が減少したものの、有価証券利息配当金や国債等債券売却益が増加したことなどから、前年同期比8億54百万円増加の257億28百万円(増減率3.4%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が増加したことや経費削減に努めたことで物件費が減少したことなどから、前年同期比3億92百万円増加の55億31百万円(増減率7.6%)となりました。
- 与信関係費用は、前年同期比9億17百万円増加の15億67百万円となりました。
- この結果、経常利益は前年同期比50百万円減少の33億92百万円、当期純利益は前年同期比97百万円増加の23億37百万円となりました。

④ 仙台銀行単体

(単位:百万円、%)

	26年3月期	27年3月期	前年同期比	
			前年同期比	増減率
経常収益	16,664	16,485	△178	△1.0
業務粗利益	13,020	13,792	772	5.9
資金利益	11,652	11,802	150	1.2
役務取引等利益	1,500	1,506	5	0.3
その他業務利益	△132	484	616	-
うち国債等債券損益	△137	480	617	-
経費(除く臨時処理分)	10,926	10,322	△603	△5.5
うち人件費	4,823	4,833	10	0.2
うち物件費	5,433	4,794	△639	△11.7
業務純益(一般貸倒繰入前)	2,093	3,469	1,376	65.7
コア業務純益	2,230	2,989	758	34.0
一般貸倒引当金繰入額	-	△524	△524	-
業務純益	2,093	3,994	1,900	90.7
臨時損益	977	△766	△1,743	-
うち不良債権処理額	115	828	713	-
うち個別貸倒引当金繰入額	-	623	623	-
うち貸倒引当金戻入益	557	-	△557	-
うち株式等関係損益	74	226	151	202.6
経常利益	3,071	3,228	156	5.1
特別損益	△504	△38	465	-
当期純利益	2,532	3,376	843	33.2
与信関係費用	△456	252	708	-

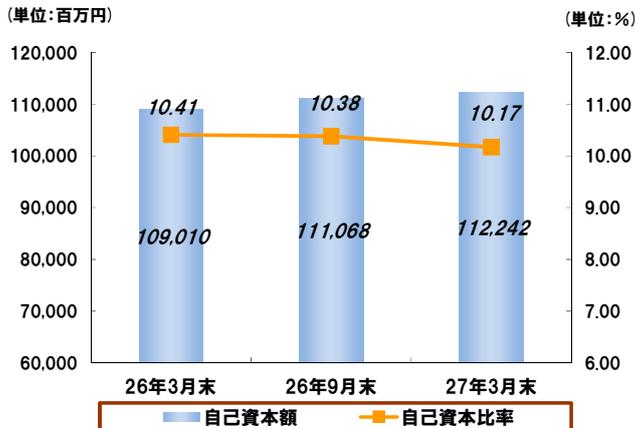
(単位:百万円)



- 経常収益は、有価証券利息配当金や国債等債券償還益が増加したものの、貸倒引当金戻入益が減少したことなどから、前年同期比1億78百万円減少の164億85百万円(増減率△1.0%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が増加したことや物件費の削減に努めたことなどから、前年同期比7億58百万円増加の29億89百万円(増減率34.0%)となりました。
- 与信関係費用は、個別貸倒引当金の繰入などにより前年同期比7億8百万円増加の2億52百万円となりました。
- この結果、経常利益は前年同期比1億56百万円増加の32億28百万円、当期純利益は前年同期比8億43百万円増加の33億76百万円となりました。

2. 自己資本比率の状況

① じもとホールディングス連結



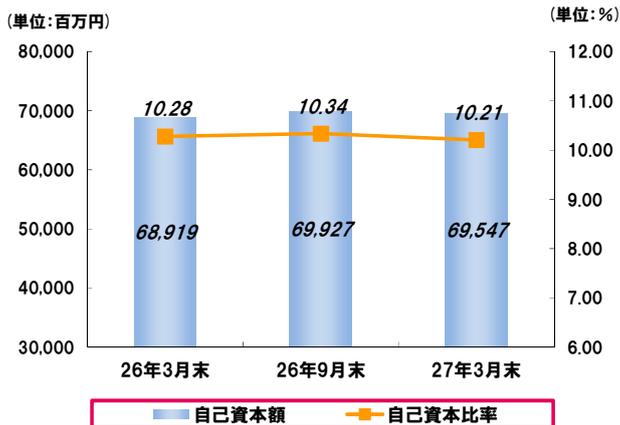
- じもとホールディングスの連結自己資本比率は10.17%となりました。

(単位:%)

	26年 3月末	26年 9月末	27年 3月末	26年 3月末比	26年 9月末比
連結自己資本比率	10.41	10.38	10.17	△ 0.24	△ 0.21

② きらやか銀行

自己資本比率(単体)の推移



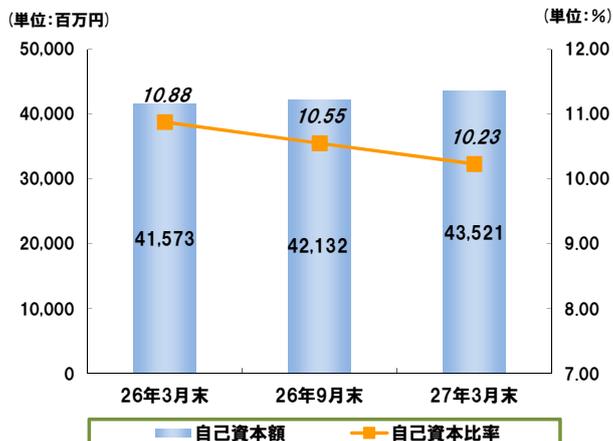
- 単体の自己資本比率は、当期純利益を23億37百万円計上したことで、自己資本額(分子)が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、26年3月末比0.07ポイント低下の10.21%となりました。

(単位:%)

	26年 3月末	26年 9月末	27年 3月末	26年 3月末比	26年 9月末比
自己資本比率[単体]	10.28	10.34	10.21	△ 0.07	△ 0.13
自己資本比率[連結]	10.32	10.41	10.22	△ 0.10	△ 0.19

③ 仙台銀行

自己資本比率の推移



- 自己資本比率は、当期純利益を33億76百万円計上したことで、自己資本額(分子)が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、26年3月末比0.65ポイント低下の10.23%となりました。

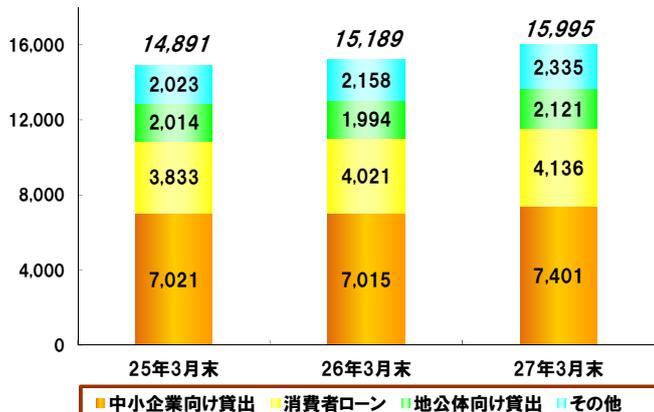
(単位:%)

	26年 3月末	26年 9月末	27年 3月末	26年 3月末比	26年 9月末比
自己資本比率	10.88	10.55	10.23	△ 0.65	△ 0.32

3. 貸出金の状況

① 2行合算

(単位:億円)



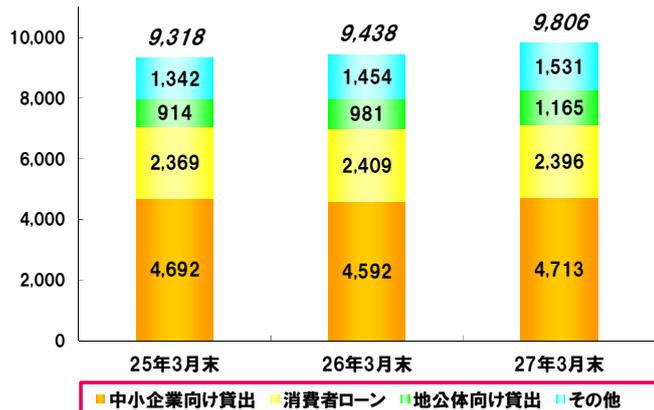
- 2行合算の貸出金残高は、26年3月末比805億92百万円増加の1兆5,995億27百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	26年3月末	27年3月末	26年3月末比	増減率
貸出金(末残)	1,518,935	1,599,527	80,592	5.3
うち中小企業向け貸出残高	701,515	740,175	38,660	5.5
うち消費者ローン	402,116	413,636	11,519	2.8
うち住宅ローン	378,578	386,158	7,579	2.0
うち地方公共団体向け貸出	199,435	212,122	12,687	6.3

② きらやか銀行

(単位:億円)



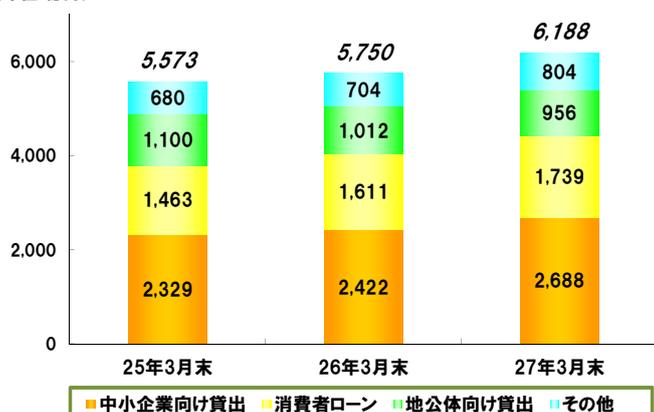
- 貸出金残高は、26年3月末比368億10百万円増加の9,806億58百万円となりました。
- 中小企業向け貸出は、本業支援を戦略として展開してきたことにより、26年3月末比120億46百万円増加の4,713億22百万円となりました。
- 消費者ローンは、住宅ローン貸出の減少により、26年3月末比13億11百万円減少の2,396億60百万円となりました。
- 地方公共団体向け貸出は、26年3月末比183億57百万円増加の1,165億22百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	26年3月末	27年3月末	26年3月末比	増減率
貸出金(末残)	943,847	980,658	36,810	3.9
うち中小企業向け貸出残高	459,275	471,322	12,046	2.6
うち消費者ローン	240,972	239,660	△ 1,311	△ 0.5
うち住宅ローン	228,695	227,431	△ 1,265	△ 0.5
うち地方公共団体向け貸出	98,165	116,522	18,357	18.7

③ 仙台銀行

(単位:億円)



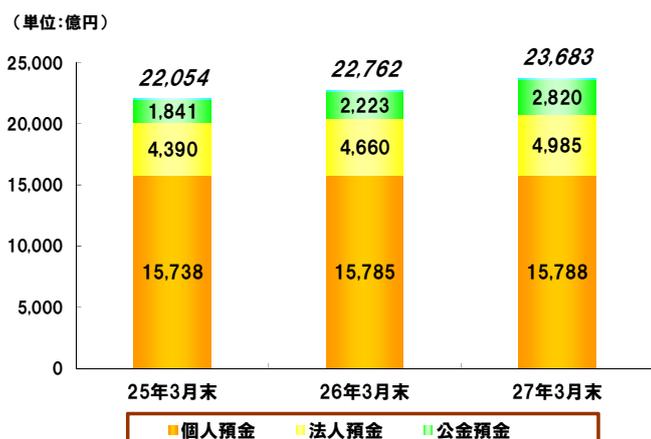
- 貸出金残高は、26年3月末比437億82百万円増加の6,188億69百万円となりました。
- 中小企業向け貸出は、震災復興に係る様々な資金需要への対応により、26年3月末比266億13百万円増加の2,688億53百万円となりました。
- 消費者ローンは、住宅ローンや個人ローン貸出の増加により、26年3月末比128億31百万円増加の1,739億76百万円となりました。
- 地方公共団体向け貸出は、26年3月末比56億69百万円減少の956億円となりました。

(単位:百万円、%)

	26年3月末	27年3月末	26年3月末比	増減率
貸出金(末残)	575,087	618,869	43,782	7.6
うち中小企業向け貸出残高	242,239	268,853	26,613	10.9
うち消費者ローン	161,144	173,976	12,831	7.9
うち住宅ローン	149,882	158,726	8,844	5.9
うち地方公共団体向け貸出	101,270	95,600	△ 5,669	△ 5.5

4. 預金（譲渡性預金を含む）の状況

① 2行合算

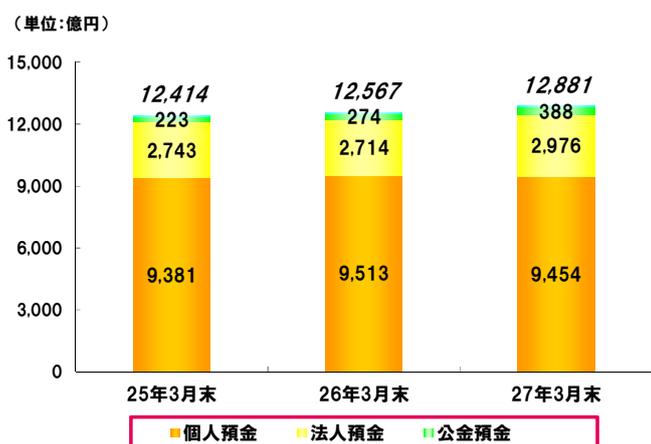


- 2行合算の預金残高は、26年3月末比920億92百万円増加の2兆3,683億10百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	26年3月末	27年3月末	26年 3月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	2,276,217	2,368,310	92,092	4.0
うち個人預金	1,578,506	1,578,840	333	0.0
うち法人預金	466,049	498,576	32,527	6.9
うち公金預金	222,398	282,041	59,643	26.8

② きらやか銀行

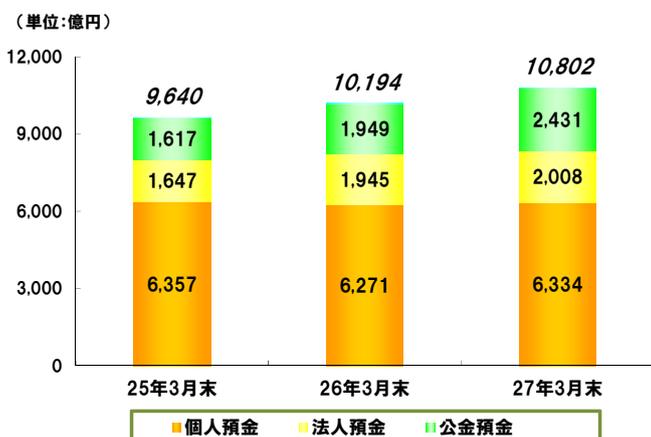


- 預金残高は、法人預金・公金預金が増加したことにより、26年3月末比313億29百万円増加の1兆2,881億9百万円となりました。
- 個人預金は、個人定期預金が減少したことなどにより26年3月末比59億5百万円減少の9,454億1百万円となりました。
- 法人預金は、流動性・定期性預金ともに大幅に増加したことなどから、26年3月末比262億20百万円増加の2,976億90百万円となりました。
- 公金預金は、26年3月末比114億20百万円増加の388億78百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	26年3月末	27年3月末	26年 3月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,256,779	1,288,109	31,329	2.4
うち個人預金	951,307	945,401	△ 5,905	△ 0.6
うち法人預金	271,469	297,690	26,220	9.6
うち公金預金	27,458	38,878	11,420	41.5

③ 仙台銀行



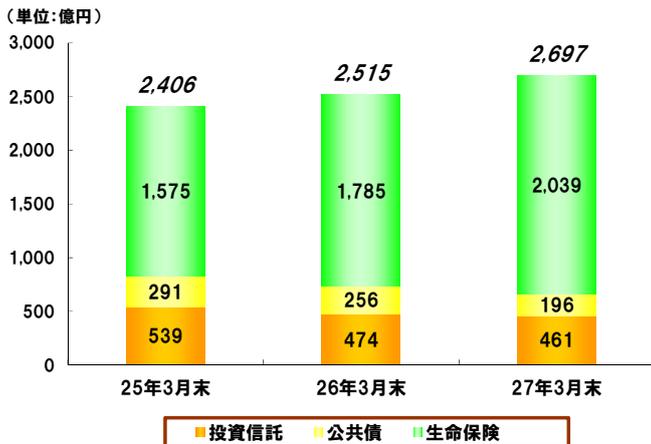
- 預金残高は、公金預金等の増加により、26年3月末比607億62百万円増加の1兆802億1百万円となりました。
- 個人預金は、26年3月末比62億39百万円増加の6,334億38百万円となりました。
- 法人預金は、企業の手持資金の増加などにより、26年3月末比63億6百万円増加の2,008億85百万円となりました。
- 公金預金は、26年3月末比482億22百万円増加の2,431億63百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	26年3月末	27年3月末	26年 3月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,019,438	1,080,201	60,762	5.9
うち個人預金	627,199	633,438	6,239	0.9
うち法人預金	194,579	200,885	6,306	3.2
うち公金預金	194,940	243,163	48,222	24.7

5. 預かり資産の状況

① 2行合算



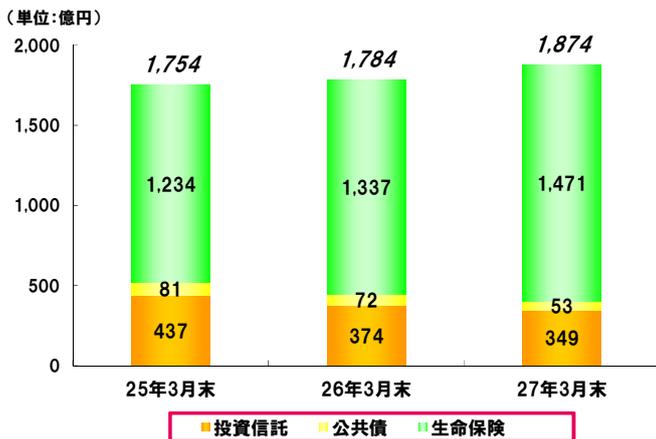
- 2行合算の預かり残高は、26年3月比181億44百万円増加の2,697億40百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	26年3月末	27年3月末	26年3月末比	増減率
預かり資産(末残)	251,596	269,740	18,144	7.2
うち投資信託	47,412	46,148	△ 1,263	△ 2.6
うち公共債(国債等)	25,659	19,652	△ 6,006	△ 23.4
うち生命保険	178,524	203,939	25,414	14.2

(注) 生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮しておりません。

② きらやか銀行



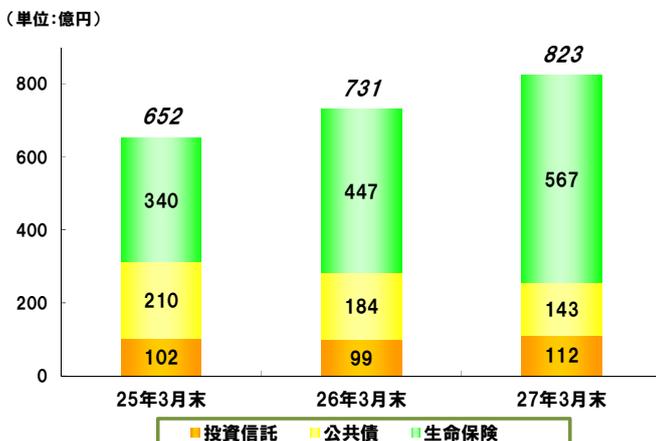
- 預かり資産残高は、26年3月末比89億40百万円増加の1,874億3百万円となりました。
- 投資信託は、26年3月末比25億1百万円減少の349億31百万円となりました。
- 公共債は、26年3月末比19億30百万円減少の53億26百万円となりました。
- 生命保険は、安定志向にあるお客様のニーズが依然高く、販売額が増加したことで、26年3月末比133億71百万円増加の1,471億45百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	26年3月末	27年3月末	26年3月末比	増減率
預かり資産(末残)	178,463	187,403	8,940	5.0
うち投資信託	37,432	34,931	△ 2,501	△ 6.6
うち公共債(国債等)	7,256	5,326	△ 1,930	△ 26.6
うち生命保険	133,774	147,145	13,371	9.9

(注) 生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮しておりません。

③ 仙台銀行



- 預かり資産残高は、26年3月末比92億4百万円増加の823億36百万円となりました。
- 投資信託は、26年3月末比12億37百万円増加の112億17百万円となりました。
- 公共債は、26年3月末比40億76百万円減少の143億25百万円となりました。
- 生命保険は、営業店と資産運用サポートチームの販売強化により、26年3月末比120億43百万円増加の567億93百万円となりました。

(単位:百万円、%)

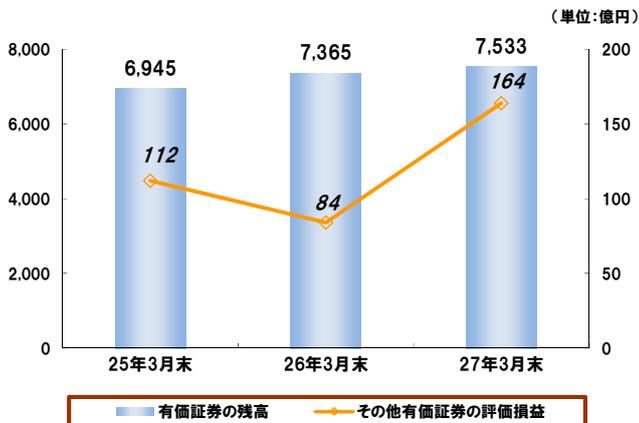
	26年3月末	27年3月末	26年3月末比	増減率
預かり資産(末残)	73,132	82,336	9,204	12.5
うち投資信託	9,980	11,217	1,237	12.3
うち公共債(国債等)	18,402	14,325	△ 4,076	△ 22.1
うち生命保険	44,750	56,793	12,043	26.9

(注) 生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮しておりません。

6. 有価証券の状況

① 2行合算

- 2行合算の有価証券残高は、26年3月末比167億37百万円増加の7,533億15百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、26年3月末比79億45百万円改善し、164億36百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高

(単位: 百万円、%)

	26年3月末	27年3月末	26年3月末比	増減率
有 価 証 券	736,578	753,315	16,737	2.2
国 債	239,515	254,686	15,171	6.3
地 方 債	98,157	89,715	△ 8,441	△ 8.6
社 債	303,253	254,035	△ 49,217	△ 16.2
株 式	19,001	16,016	△ 2,984	△ 15.7
そ の 他 証 券	76,650	138,860	62,210	81.1

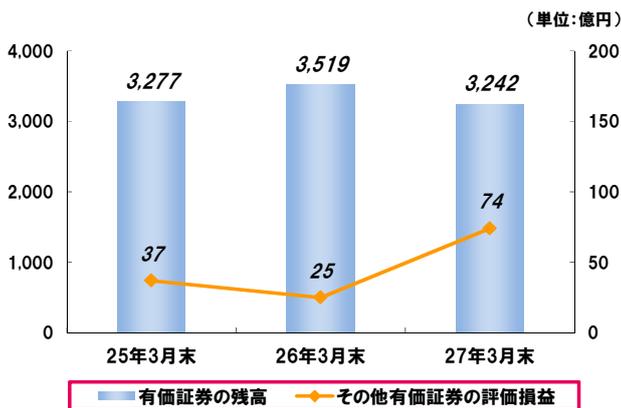
②その他有価証券の評価損益

(単位: 百万円)

	26年3月末	27年3月末	26年3月末比
そ の 他 有 価 証 券	8,490	16,436	7,945
株 式	2,636	5,894	3,257
債 券	6,595	7,685	1,090
そ の 他	△ 740	2,856	3,597

② きらやか銀行

- 有価証券残高は、債券運用ポートフォリオの見直しを実施したことにより、26年3月末比276億78百万円減少の3,242億34百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、市場の回復に伴い26年3月末比49億58百万円改善し、74億88百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高

(単位: 百万円、%)

	26年3月末	27年3月末	26年3月末比	増減率
有 価 証 券	351,913	324,234	△ 27,678	△ 7.8
国 債	122,546	126,241	3,695	3.0
地 方 債	27,737	11,025	△ 16,711	△ 60.2
社 債	141,378	87,175	△ 54,203	△ 38.3
株 式	10,807	6,398	△ 4,409	△ 40.7
そ の 他 証 券	49,444	93,393	43,949	88.8

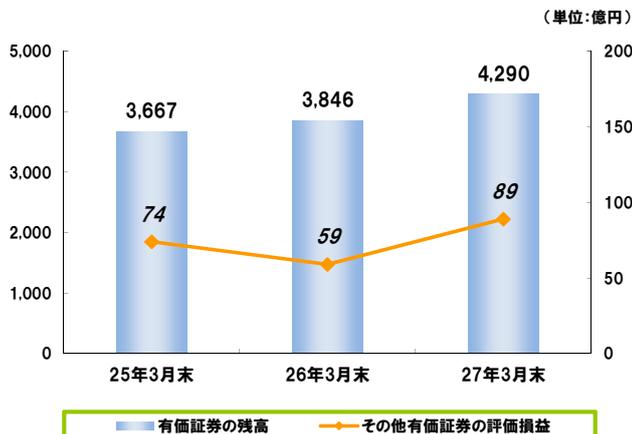
②その他有価証券の評価損益

(単位: 百万円)

	26年3月末	27年3月末	26年3月末比
そ の 他 有 価 証 券	2,530	7,488	4,958
株 式	535	1,487	952
債 券	2,726	3,399	673
そ の 他	△ 731	2,601	3,332

③ 仙台銀行

- 有価証券残高は、預金残高の増加に伴い債券を中心に運用額を増加したことなどから、26年3月末比444億16百万円増加の4,290億80百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、市場の回復に伴い26年3月末比29億87百万円改善し、89億48百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高

(単位: 百万円、%)

	26年3月末	27年3月末	26年3月末比	増減率
有 価 証 券	384,664	429,080	44,416	11.5
国 債	116,969	128,444	11,475	9.8
地 方 債	70,420	78,689	8,269	11.7
社 債	161,874	166,860	4,985	3.0
株 式	8,193	9,618	1,424	17.3
そ の 他 証 券	27,205	45,467	18,261	67.1

②その他有価証券の評価損益

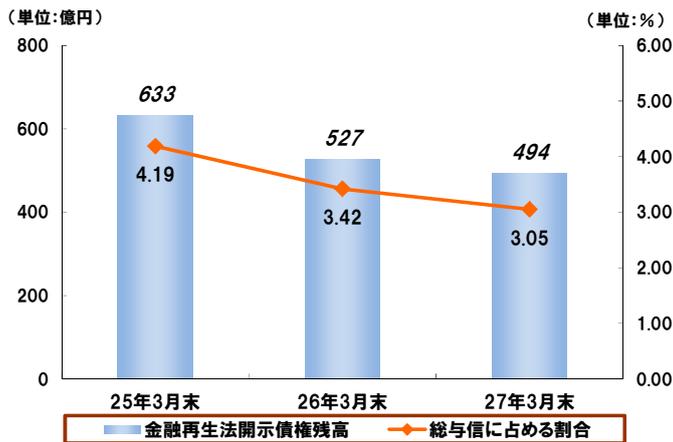
(単位: 百万円)

	26年3月末	27年3月末	26年3月末比
そ の 他 有 価 証 券	5,960	8,948	2,987
株 式	2,101	4,406	2,305
債 券	3,868	4,286	417
そ の 他	△ 9	255	264

(注) その他有価証券の評価については、決算日の市場価格に基づいております。

7. 金融再生法開示債権の状況

① 2行合算



- 2行合算の金融再生法開示債権残高（要管理債権以下の合計額）は、26年3月末比32億95百万円減少の494億96百万円となりました。
- 総与信額に対する比率は、26年3月末比0.37ポイント低下の3.05%となりました。
- 2行合算の金融再生法開示債権の保全率は、85.50%となりました。

① 金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円, %)

	26年3月末	27年3月末	26年3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,980	4,234	△ 2,746
危険債権	40,877	40,826	△ 50
要管理債権	4,933	4,435	△ 497
合計 (A)	52,791	49,496	△ 3,295
正常債権	1,488,012	1,570,381	82,369
総与信額 (B)	1,540,803	1,619,877	79,074
(A / B)	3.42	3.05	△ 0.37

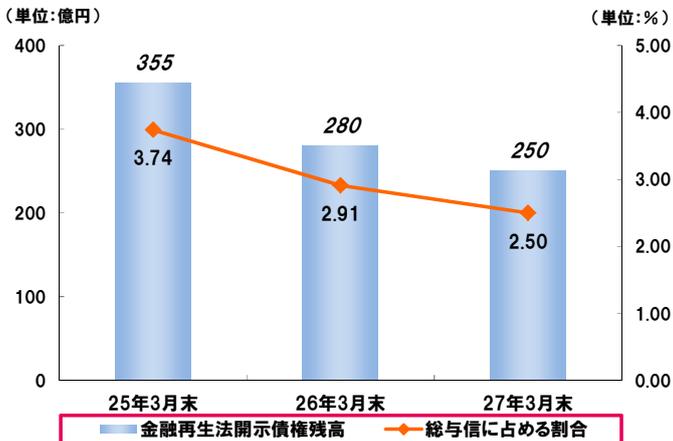
② 金融再生法開示債権の保全状況 (27年3月末) (単位: 百万円, %)

	債権額 (A)	保全額 (B)		保全率 (B/A)
		担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,234	4,234	1,750	100.00
危険債権	40,826	36,846	7,047	90.25
要管理債権	4,435	1,241	399	27.98
合計	49,496	42,322	9,197	85.50

【参考】26年3月末 (単位: 百万円, %)

	債権額 (A)	保全額 (B)		保全率 (B/A)
		担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,980	6,980	3,266	100.00
危険債権	40,877	36,249	5,597	88.67
要管理債権	4,933	1,357	480	27.52
合計	52,791	44,587	9,344	84.46

② きらやか銀行



- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、26年3月末比29億87百万円減少の250億36百万円となりました。
- 総与信額に対する比率は、26年3月末比0.41ポイント低下の2.50%となりました。
- 金融再生法開示債権の保全率は、75.88%となりました。

(注) 事業再生専門子会社であるきらやかターンアラウンド・パートナーズ(株)は、平成27年3月1日付で(株)きらやか銀行に吸収合併しております。

① 金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円, %)

	26年3月末	27年3月末	26年3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,583	2,688	△ 1,894
危険債権	19,825	19,253	△ 571
要管理債権	3,616	3,094	△ 521
合計 (A)	28,024	25,036	△ 2,987
正常債権	933,769	972,471	38,702
総与信額 (B)	961,793	997,508	35,714
(A / B)	2.91	2.50	△ 0.41

② 金融再生法開示債権の保全状況 (27年3月末) (単位: 百万円, %)

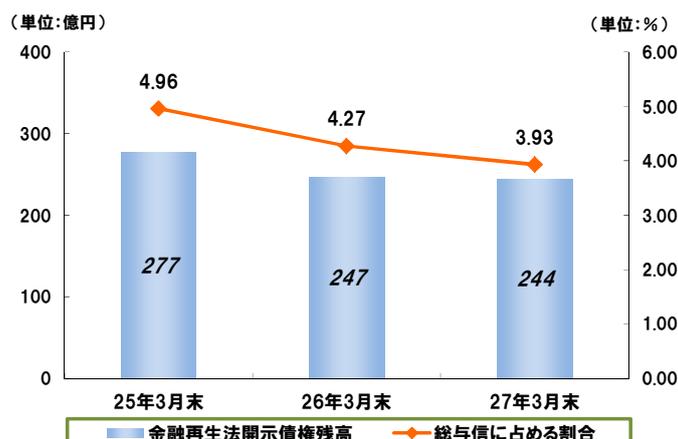
	債権額 (A)	保全額 (B)		保全率 (B/A)
		担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,688	2,688	1,129	100.00
危険債権	19,253	15,839	3,818	82.26
要管理債権	3,094	470	256	15.20
合計	25,036	18,998	5,203	75.88

【参考】26年3月末 (単位: 百万円, %)

	債権額 (A)	保全額 (B)		保全率 (B/A)
		担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,583	4,583	2,391	100.00
危険債権	19,825	15,802	2,943	79.70
要管理債権	3,616	540	315	14.93
合計	28,024	20,925	5,649	74.66

7. 金融再生法開示債権の状況

③ 仙台銀行



- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、一部の被災企業の業況好転や約定返済などから、26年3月末比3億7百万円減少の244億59百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、26年3月末比0.34ポイント低下の3.93%となりました。
- 金融再生法開示債権の保全率は、95.35%となりました。

①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

	26年3月末	27年3月末	26年3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,397	1,545	△ 851
危険債権	21,052	21,573	520
要管理債権	1,317	1,340	23
合計 (A)	24,766	24,459	△ 307
正常債権	554,243	597,910	43,667
総与信額 (B)	579,009	622,369	43,359
(A / B)	4.27	3.93	△ 0.34

②金融再生法開示債権の保全状況(27年3月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率 (B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,545	1,545	923	621	100.00
危険債権	21,573	21,007	17,778	3,229	97.37
要管理債権	1,340	770	627	143	57.47
合計	24,459	23,323	19,329	3,993	95.35

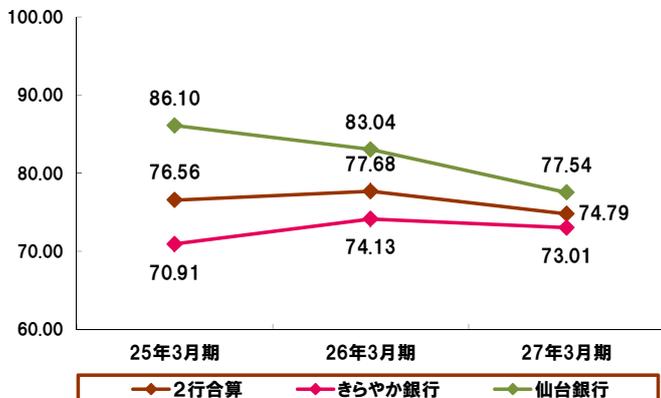
【参考】26年3月末 (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率 (B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,397	2,397	1,522	875	100.00
危険債権	21,052	20,447	17,793	2,654	97.12
要管理債権	1,317	817	652	165	62.08
合計	24,766	23,662	19,967	3,694	95.54

8. 経営指標

- 2行合算のコアOHR（債券関係損益を除く）は、26年3月末比2.89ポイント改善し、74.79%となりました。

(単位:%)



(単位:%)

		25年3月期	26年3月期	27年3月期	25年3月期比	26年3月期比
コアOHR	2行合算	76.56	77.68	74.79	△ 1.77	△ 2.89
	きらやか銀行	70.91	74.13	73.01	2.10	△ 1.12
	仙台銀行	86.10	83.04	77.54	△ 8.56	△ 5.50

9. 平成28年3月期 業績予想及び配当方針

① じもとホールディングスの連結業績予想及び配当方針

- じもとホールディングスの平成28年3月期の連結業績予想は、経常利益22億円、当期純利益21億円を見込んでおります。
- じもとホールディングスの平成27年3月期の1株あたりの期末配当金は、2円50銭を予定しております。また、平成28年3月期の年間配当金は、1株あたり5円を予定しております。

(単位:百万円)

	平成28年3月期	中間期	(参考) 平成27年3月期 実績
	経常利益	2,200	700
当期純利益	2,100	800	5,986

基準日	中間	期末	年間
配当予想	2円50銭	2円50銭	5円00銭
(参考)平成27年3月期	2円50銭	2円50銭	5円00銭

② 子銀行の個別業績予想

- きらやか銀行単体ベースでは、経常利益15億円、当期純利益14億円を見込んでおります。
- 仙台銀行単体ベースでは、経常利益12億円、当期純利益11億円を見込んでおります。

きらやか銀行

(単位:百万円)

	平成28年3月期	中間期	(参考) 平成27年3月期 実績
	経常利益	1,500	500
当期純利益	1,400	500	2,337

仙台銀行

(単位:百万円)

	平成28年3月期	中間期	(参考) 平成27年3月期 実績
	経常利益	1,200	500
当期純利益	1,100	400	3,376